

協働のまちづくり 懇談会を開催しました

●参加者延数 161人

3年ぶりの開催となった本懇談会は、町民の皆様と行政が意見交換を行い、その声を町の政策に反映することを目的とし、旧小学校区を単位に町内7会場で開催しました。各会場で話題になったことや、懇談会を開催するにあたって事前に集約した地域課題の中から、多くの地域に関わるようなものを抜粋してご紹介します。

担い手

◆寄せられた課題

コロナなどの問題もあり、祭りや伝統行事、集落行事等の継承が難しくなってきた。担い手を見つけるのに苦労している。

◆町の考え

担い手

コロナ禍前は小学校児童のふるさと学習の一環で、地域の方々から伝統文化等の指導や実演をしていただいていた。各種行事が再開されつつある中で、大人と子どもと一緒に、伝統芸能等へ触れる機会が増え、結果として担い手の育成に繋がればと期待しています。

子ども

◆寄せられた課題

小学校が統合されたことや、少子化の影響から地域で子供を見る機会が少なくなった。それに伴い、子ども達が参加する行事も少なくなり、地域の活気がなくなっている。育成会等の活動も少なくなった。

◆町の考え

少子化対策

全国的に少子化が進んでおり、当町の出生数も令和2年度以降、年間20人台と予想以上に深刻化しています。学校の統合で地域に子どもの姿がなくなったという声も多く聞かれ、様々な地域活動に支障をきたしているものと考えます。少子化の背景には、(へ)

高齢者

◆寄せられた課題

少子高齢化が進み、高齢者の一人暮らしや、高齢夫婦世帯も増えてきた。除雪や買い物などが難しくなっている世帯もある中、どのように支援していくのか。

雇用促進

◆町の考え

移住支援

進学や就職等をきっかけに町外へ転出する若者が多く、人口減少が進んでいる一方、コロナの影響により地方移住への関心が高まっているとともに、リモートワークなど働き方についても大きく変化しています。こうした中、移住希望者が抱える移住への不安を軽減するためにも、移住支援策や就労、生活に関する情報を発信していくことが重要であると考えております。

関係人口の増加

「関係人口」をいかに増やしていくかが重要な力ギとなります。関係人口が増えることで裾野が広がり、移住・定住につながる可能性も高くなるものと思われまます。すぐに移住には結びつかないとしても、何度が当町に足を運んでいただくことで、町の魅力に触れ、町の良さを知っていただき、将来的に移住・定住に結びつくような仕組みづくりが必要かと考えております。そのためにも、お試し体験住宅を確保し、短期間滞在しながら様々な体験を通して、移住・定住につながるよう取り組んでいきます。

◆寄せられた課題

移住定住

人口減少を抑制するためにも、移住定住にむけた地域の魅力づくりが必要なのではないか。

◆町の考え

高齢者の見守り

単身高齢者、高齢者夫婦世帯等については民生委員が訪問を行っています。重篤な症状になりうる持病のある方については「緊急通報システム事業」で、認知症による徘徊の恐れのある方については町に登録する「おかえり安心登録事業」で支援しています。令和4年度は地域のネットワークづくりのため、区長、民生委員、健康福祉推進員、社会福祉協議会、町が参加した「ネットワークづくり検討会」を開催しました。今年度も継続して開催する予定です。地域での見守りや災害時の避難支援などについても、地域全体で検討していく予定です。

様々な支援

除雪支援としては、軽度生活支援事業があります。社会福祉協議会では、有償ボランティアの間口除雪サービスを行っています。そのほか、地域内で除雪支援を行っている集落も出てきています。

買い物支援つながらる移動販売などの事業については、他自治体において人口が一定程度集中した地域では、民間主体の取り組みが広がりを見せています。当町でも買い物支援間口除雪を含め地域を支える人材の確保は、重要な課題と捉えています。間口除雪にご協力いただいている方は、重機を使つての作業やスノーダンプでの作業など様々です。間口除雪は、ボランティアの方から協力いただきやすい形で行われることで、より取り組みやすいものになると考えます。

防災

◆寄せられた課題

消防団員の減少により、有事の際が心配。国道47号が通行止めになった場合はどうなるか。

◆町の考え

消防団再編

消防団員数の減少により、分団の再編は喫緊の課題となっております。まずは、消防団活動や運営に支障を来たす部を中心に、他の部との統合について検討していきます。併せて、団員の負担軽減を図りながら、活動しやすい環境づくりに取り組んでいく必要があります。

災害に強い交通網

過去の豪雨災害時に、長沢

援に対する住民ニーズの把握を進めながら、継続性のある事業が推進できるよう、支援方法や企業への協力依頼について方向性を検討して参ります。町や社会福祉協議会では、移動支援を含めたボランティアの研修を行っており、地域の中で支援に向けて動き出している団体も出てきています。

最後に

本懇談会を開催するにあたり、特に地域の課題集約においては、区長や公民館長を始めとした様々な方々にご協力をいただきました。誠にありがとうございました。この紙面では最上町全体に関わるようなものをご紹介しましたが、その他のご意見等に対する町の考えは、町のホームページに掲載いたします。

このページに関する問合せ

総務企画課まちづくり推進室
☎4312261